

第3回 西日本こども虐待医療セミナー

西日本こども虐待医療セミナーも第3回を迎えることとなりました。児童虐待対応に関わる上で、重要となるテーマを取り上げました。皆さま、ぜひご参加ください。

事務局 兵庫県立尼崎総合医療センター 毎原 敏郎

日時 2017年3月11日(土) 13:00～ 受付開始

場所 兵庫県立尼崎総合医療センター 1階 講堂

兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77 Tel: 06-6480-7000

(JR 尼崎駅・立花駅、阪神尼崎駅、阪急塚口駅からバス、尼崎総合医療センター前下車)

対象 医療関係者、児童相談所職員、保健・福祉関係者など

プログラム

特別講演 1

座長： 毎原 敏郎 (兵庫県立尼崎総合医療センター)

13:30～15:15

「周産期からの児童虐待予防を目指して」

元・名古屋第二赤十字病院 MSW 山田 優作先生

(現・名古屋市守山区役所 児童虐待防止推進員)

質疑応答 (各施設での取り組みについて)

特別講演 2

座長： 川崎 英史 (兵庫県立尼崎総合医療センター)

15:30～17:00

「DV 被害者をどう理解し、どう支援するか」

兵庫教育大学大学院 教授 有園 博子先生

指定発言 徳山 育弘先生 (弁護士、ハートリーフ法律事務所)

参加人数の把握のため、事前申し込みをお願いします。上記のセミナーに関するお申し込みとお問い合わせは、兵庫県立尼崎総合医療センターこども家族支援室までメールでお願いいたします (cfaso2014@gmail.com)。参加は無料です。

当セミナーに先立ち、一般社団法人日本子ども虐待医学会 (JaMSCAN) 主催 第6回事例検討会を同じ会場で開催します。対象は原則として学会正会員ですが、第2部は正会員以外の医療者や公的機関 (児童相談所・警察・検察) の職員の方も、正会員の推薦があれば参加していただくことができます。学会事務局 (info@jamskan.jp) までお問い合わせください。

第1部：3月10日(金) 19:00～21:00 (正会員のみ)

第2部：3月11日(土) 9:30～12:00 (正会員、非会員医療者、公的機関職員)